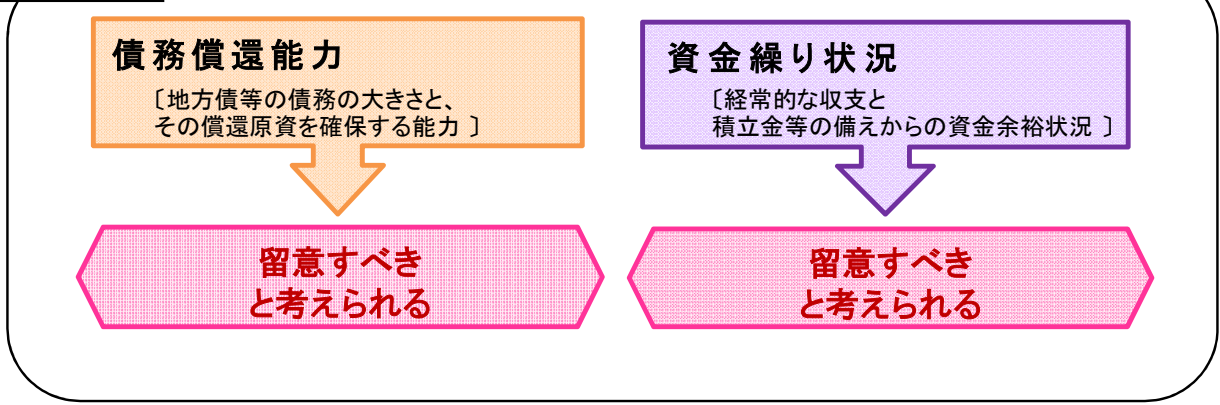


令和元年度財務状況公表

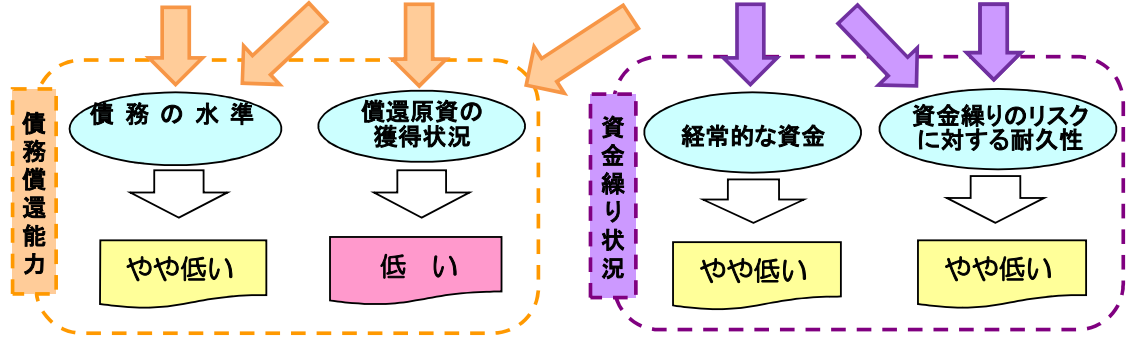
団体名：本別町

総合評価



財務指標 (令和元年度決算)

指標	①実質債務月収倍率 $\left(\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}\right)$ ※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	②債務償還可能年数 $\left(\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入}}\right)$ ※一年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標	指標	③行政経常収支率 $\left(\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}\right)$ ※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	④積立金等月収倍率 $\left(\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}\right)$ ※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
注意	24.0月	177.6年	問題なし	10.0%	6.9月
やや注意	18.0月	15.0年	やや注意	0.5%	3.0月
問題なし	11.7月		注意	0.0%	1.0月



今後の見通しと留意点

○健全な財政運営に向けて

令和元年度時点における貴町の財務指標は、収支低水準の状態にあり、留意すべき状況にある。要因としては、本別町国民健康保険病院の資金不足解消により補助費等の繰出金が大幅に増加したことによるものである。一方、ヒアリングにより今後の見通しを確認したところ、行政経常収入は減少するものの、人件費の抑制や補助費等の削減により行政経常支出は減少することから、収支システムの改善が見込まれる。よって貴町が今後も活性化に向けた様々な取組を継続的に行っていくにあたり、中長期的に財政の健全化を保つには、収支計画策定の検討を含む計画的な財政運営の推進が望まれる。

○第2期「本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の活用による活性化について

貴町の地方版総合戦略は、令和2年度で第1期(平成27年度～令和2年度)が終了し、令和3年度からは第2期(令和3年度～令和7年度)が開始となる。当計画の骨子は人口減少抑制と地域活性化であり、そのために「元気な産業をつくり安心して働けるようにする」「本別へ新しい人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安心して暮らせる地域をつくる」の4つの基本目標を策定している。

特に「本別へ新しい人の流れをつくる」ための移住の促進については、第1期では目標数値を上回る等、成果があがっており、第2期でも継続して取り組んでいくとしている。また、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」環境をつくるとして、第2期では「婚活等交流イベントの参加者数の拡大」や「子育て支援拠点事業のべ利用者数」などの目標を掲げ、次世代を担う子どもたちの成長を地域全体ではぐむ環境づくりを推進している。

さらに「元気な産業をつくり安心して働けるようにする」ために基幹産業である農業に係る人材育成や新規就農者への支援を行うとともに、介護などの事業者や就業者への支援を行うこととしている。今後は、第2期総合戦略に沿った更なる発展に向けた各種事業の推進により、地域の課題解決に取り組まれることを期待したい。

○病院事業会計について

貴町の公営企業である本別町国民健康保険病院は、診断基準年度である令和元年度において、医師4名体制で内科・外科を常時維持しているほか、救急告示病院の指定を受け24時間患者の受け入れ態勢を整備することで、住民が安心して暮らすことのできる医療体制構築に貢献している。一方で、民間病院への患者流出などを原因として赤字が継続した結果、平成30年度には92百万円の資金不足が発生し、令和元年度には28百万円の債務超過となった。

貴町としても地域の医療サービス維持のため貴病院への支援を継続しているが、平成22年度以降継続して貴病院への繰出金が当方の基準である6%を上回って推移している。特に診断基準年度である令和元年度は前年度に発生した資金不足解消のためとして597百万円(前年比+226百万円、繰出比率13.5%)の繰出金を計上しており、それを主因として一般会計が3. 財務の健全性等に関する事項【収支系統】に記載のとおり収支低水準となるなど、貴町の財政に与える影響は非常に大きいものとなっている。

貴病院の立地条件を勘案すれば、貴病院の存在は地域医療のために不可欠であると理解できるため、持続可能な病院経営と町財政の維持のためにも、独立採算の原則を意識したうえ、経営改善のための実現可能かつ抜本的な施策の検討を期待したい。